令和５年１１月２日

呉市上下水道事業管理者
澤　村　　直　樹　様

呉市上下水道事業経営審議会
会　長　　中　村　　哲

呉市上下水道事業経営審議会印

呉市上下水道ビジョン2024～2033（素案）について（答申）

令和５年８月２４日付呉水経経第７７号で諮問のあった，呉市上下水道ビジョン2024～2033（素案）について，次のとおり答申します。

呉市上下水道事業は，料金収入の減少や電気料金の高騰，老朽化した上下水道施設の更新需要の増大などにより今後も厳しい経営状況が見込まれる中，本ビジョンには，基幹配水池のバックアップ対策や下水道未普及地区の整備など市民サービスの向上に直接つながる取組が，また，職員体制の適正化や上下水道施設の統廃合など持続可能な上下水道づくりの取組が盛り込まれており評価できる内容となっています。

一方，本ビジョンは，上下水道料金の見直しについて言及されており，財政見通しの内容から推察すると，上下水道料金の値上げが必要となってくるものと思われます。

このような現状を勘案し総合的に審議した結果，本審議会といたしましては，審議の過程で出された次の意見等を今後の事業運営に反映し，将来にわたり安全で安心なサービスを安定的に提供していただきたいと考えます。

○　施設の最適化を進めた場合には施設の数が減り，一施設当たりの比重が高くなることから，更に施設の最適化を検討する際には，被災時の被害が拡大しないよう配慮し，取組を進めること。
○　業務のアウトソーシングについては，その目的と効果を慎重に検討した上で実施すること。また，組織力を維持するため，人材育成や技術継承を実践する上で必要な職員を計画的に採用すること。
○　水循環や水源涵養，水道や下水道のＳＤＧｓに関する事項について，市民の関心を高めるような取組を実施すること。
○　局が実施している取組の広報をより充実させることで，市民の安心感を高めることや本市の上下水道事業に対する理解を深めることにつなげ，お客様満足度の向上に努めること。
○　財政見通しでは厳しい経営状況が見込まれているので，この計画の実行段階において，より効率的な取組を継続して検討し，更なる経費節減を図ること。